

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	01	道路橋りょう総務費	事業 1	063	0 1 0 7 0 2 0 1
事業 2	020	道路管理業務費	事業 3	001	道路管理業務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 道路用地の適正な管理や協議会への負担金支出
- ・内容 道路の設計、用地買収など道路整備に係る庶務的事項への対応
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 用地交渉等の円滑な進捗が図れる
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 8,033千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 9,321千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 11,832千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 未定

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 消耗品はリサイクル品を多用しコスト縮減を図り、道路事業用地の草刈り委託を実施。
- ・令和7年度 消耗品はリサイクル品を多用しコスト縮減を図り、道路事業用地の草刈り委託を実施。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

道路整備に関する庶務的な経費について、効率よく実施し、リサイクル品を使用するなど縮減を図っているが、物品の値上がり等により、年度末にはプリンタートナーなどが不足する事態が近年発生している。
狭あい道路整備事業に従事する職員の不足を会計年度任用職員1名で補っているが、週3日勤務を週4日とし、事務の更なる効率化及び正規職員の負担軽減を図りたい。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

道路事業用地の管理のため草刈りを実施。
狭あい道路整備事業へ従事する会計年度任用職員の勤務日数を週3日から週4日とし、年間を通したより効率的な事務処理に取り組む。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	01	道路橋りょう総務費	事業 1	063	0 1 0 7 0 2 0 1
事業 2	020	道路管理業務費	事業 3	001	道路管理業務費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

会計年度職員の勤務日数の増加による報酬等の増額や、物品等の値上がりなどによる。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

草刈り面積：令和7年度1,757㎡、令和6年度2,764㎡、令和5年度2,881㎡

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

道路管理業務を適正に実施するため必要な事業であることから、継続して要求。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	003	国庫関連通学路安全対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 危険性の高い通学路の安全対策として、歩道を設置するもの
- ・内容 交通弱者である歩行者を自動車交通より分離し、通学路の安全性を高める
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 歩行者の安全と快適性の確保、道路交通の円滑化が図れるもの
- ・目標値 令和10年度事業完了

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）
秦野市通学路交通安全プログラム

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 1,067,752千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 219,024千円（28%）
- ・令和6年度補正予算 事業費（進捗率） : 18,300千円（30%）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 147,961千円（45%）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 213,196千円（68%）（うち特別枠分 : 243,426千円）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 323,800千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 市道71号線の歩道設置に伴う事業用地の取得、建物補償及び工事を実施
- ・令和7年度 市道71号線の歩道設置に伴う事業用地の取得、建物補償及び工事を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

事業用地を取得し、概ね予定どおりの進捗で事業が進んでいる。
国の補助金、交付金事業として事業を実施しており、歳入の確保に努めている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

地権者との用地交渉を進め、歩道設置工事を実施する。
踏切を拡幅整備するため、小田急電鉄へ踏切拡幅の設計を委託する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	003	国庫関連通学路安全対策事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

年次計画に基づく整備予定箇所の積上げに伴う増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

通学路安全対策事業としての国の補助金は令和8年度までであることから、社会資本整備総合交付金への移行を図り、財源を確保しつつ、早期の事業完了が求められていることから、遅滞なく完成できるよう努める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・ 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 交通安全対策補助金（国費18,700千円）

・ 社会資本整備総合交付金（国費23,100千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	004	国庫関連通学路整備工事費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 交通弱者である歩行者を自動車交通より分離し通学路の安全性を高める
- ・内容 学校周辺の通学路や交通量の多い道路について歩道を設置するもの
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 歩行者の安全と快適性の確保、道路交通の円滑化が図れるもの
- ・目標値 市道6号線 令和8年度事業完了

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）
秦野市通学路交通安全プログラム

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 536,618千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 22,422千円（80%）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 51,000千円（89%）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 52,320千円（100%）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 未定

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 市道6号線電線地中化工事を実施
- ・令和7年度 市道6号線の電線地中化事業に伴う占用企業者工事委託を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

令和7年度に電線地中化事業に伴い電気、通信の占用企業者による工事委託を実施しているが、工事完了までに時間を要す見込である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

都市構造再編集集中支援事業補助金を活用し、歩道舗装及び街路灯の整備を実施し、事業を完了させる。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	004	国庫関連通学路整備工事費

(1) 増減理由

年次計画に基づく整備予定箇所の積上げに伴う増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

令和8年度事業で、市道6号線歩道整備事業の完成を予定。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 - ・ 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・ 都市構造再編集集中支援事業補助金（国費：21,000千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	030	狭あい道路整備事業費	事業 3	001	狭あい道路整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市内狭あい道路の拡幅整備
- ・内容 建築基準法第42条2項道路の解消
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 交通安全及び防災力向上
- ・目標値 市内狭あい道路の解消

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 建築基準法、秦野市まちづくり条例、秦野市狭あい道路整備要綱
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 51,778千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 72,090千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 96,710千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 未定

3 令和6年度・令和7年度の実績内容[D]

- ・令和6年度 51件 後退延長 967m 後退面積 1,013㎡
- ・令和7年度 狭あい道路の早期解消を目指し効率的な事業推進に努めていく。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

昭和60年4月の事業開始以降、市内の2項道路の約半分が解消された。

5 令和8年度の実績内容（課題解決への取組等）[A]

除却工事の未了案件解消及び道路擁壁工事等の早期進捗を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

過去5年間の平均実績に基づく計上に、大型工事費を加えたことによる増額。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	030	狭あい道路整備事業費	事業 3	001	狭あい道路整備事業費

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和4年度（測量委託61件、用地取得35件、工事48件、補助4件）
 令和5年度（測量委託76件、用地取得37件、工事39件、補助13件）
 令和6年度（測量委託52件、用地取得35件、工事27件、補助13件）

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 狭あい道路の早期解消のため、補助制度を継続する。
 未施工の大型工事を早期に実施し、狭あい箇所の改善を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 ・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 ・社会資本整備総合交付金（国費：24,000千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	040	歩道設置事業費	事業 3	001	歩道設置事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 歩行者の安全と快適性の確保
- ・内容 学校周辺の通学路や交通量の多い道路について、歩道を整備するもの
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 交通弱者である歩行者を自動車交通から分離し、歩行者の安全と快適性を確保し、道路交通を円滑にする
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 17,530千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 2,000千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 134,650千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 未定

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 市道12号線の歩道瀨設置を実施。
市道15号線の歩道設置に向けた測量を実施。
- ・令和7年度 環境創出行為や建物の建て替えなど沿道の土地利用が発生した際に事業実施。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

国の交付金対象事業以外の歩道設置事業では、事業費が多分に掛かるため、環境創出行為や建物の建て替えなど沿道の土地利用が発生した際に、機を逃さず事業を実施できるよう取り組んでいる。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

沿道で土地利用の転換がある市道4号線の歩道設置事業の実施
休日夜間緊急診療所へのアクセス道路である緑町25号線 歩道設置に向けた測量委託の実施
県有地の売却に伴い歩道設置を計画している市道62号線の事業用地の価格算定

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	040	歩道設置事業費	事業 3	001	歩道設置事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

市道4号線歩道設置事業では用地、補償、工事を単年度で実施するとともに、緑町25号線、市道62号線の歩道設置に向け、測量委託や事業用地の不動産鑑定を実施するため増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

環境創出行為などの沿道の土地利用にあわせて、歩道整備を実施していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・ 該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・ 市道4号線歩道設置工事等の詳細設計を直営により実施（歳出削減：4,000千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	050	国庫関連歩道設置事業費	事業 3	001	国庫関連歩道設置事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 交通弱者である歩行者を自動車交通より分離するもの
- ・内容 学校周辺の通学路や交通量の多い道路について、歩道を整備するもの
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 交歩行者の安全と快適性の確保、道路交通の円滑化が図れる
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 13,266千円（路線数1）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 72,970千円（路線数1）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 48,027千円（路線数2）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 95,370千円（路線数2）

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 市道9号線の歩道設置に向け、用地補償交渉及び工事を実施
- ・令和7年度 市道9号線の歩道設置に向け、用地取得、建物補償及び工事を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

地権者との交渉が長引き事業に遅れが生じているが、早期の事業完成に向け取り組んでいる。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

市道9号線の用地取得、工作物補償を実施するとともに、歩道設置工事を実施する。
市道15号線では、国の交付金を活用し、事業用地を取得し工事を実施する

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	01070202
事業 2	050	国庫関連歩道設置事業費	事業 3	001	国庫関連歩道設置事業費

新たに市道15号線の歩道設置事業を行うが、市道9号線では、事業年次計画に基づき事業費が大幅減となっているため、総額も減となっている。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
市道9号線では、事業協力を得られた箇所の歩道設置を令和9年度に完成させる。
市道15号線では、沿道の土地利用にあわせて、歩道設置を進めていく。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 - ・ 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・ 社会資本整備総合交付金（国費 13,200千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路新設改良費	事業 1	065	01070203
事業 2	010	市道改良事業費	事業 3	001	市道改良事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 日常の円滑な交通処理及び災害時における緊急車両の通行経路の確保
- ・内容 既存市道の拡幅改良を行う
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 日常の円滑な交通処理及び災害時における緊急車両の通行経路の確保を図ることができる
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 123,932千円（工事路線数：12）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 39,182千円（工事路線数：3）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 129,893千円（工事路線数：5）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 未定

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 市道改良事業 工事路線数：12路線
- ・令和7年度 市道改良事業 工事路線数：3路線

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

道路拡幅要望が数多くある中、優先度の高い路線から整備を進めているが、事業費の確保や地域間のバランスなどの課題が大きい。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

継続事業として実施してきた路線の市道改良事業を実施する。
環境創出行為などの沿道の土地利用にあわせて道路改良を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路新設改良費	事業 1	065	01070203
事業 2	010	市道改良事業費	事業 3	001	市道改良事業費

(1) 増減理由

前年度、事業費が大幅に減額となっていたため増額となっている。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

道路拡幅の要望を多数いただいているが、事業費に限りがあるため、事業箇所を精査し整備を実施する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路新設改良費	事業 1	065	01070203
事業 2	020	国庫関連市道改良事業費	事業 3	001	国庫関連市道改良事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 日常の円滑な交通処理及び災害時に緊急車両の通行経路を確保する
- ・内容 交差点の改良や既存市道の拡幅改良を行う
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 円滑な交通処理及び災害時に緊急車両の通行経路を確保する
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 7,188千円（工事路線数：1）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 71,765千円（工事路線数：2）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 89,927千円（工事路線数：1）（うち特別枠分：89,927千円）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 50,000千円（工事路線数：1）

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 市道25号線の道路改良事業に伴う用地取得を実施
- ・令和7年度 市道25号線の道路改良事業に伴う用地取得及び工事を実施
市道86号線の道路改良事業に伴い、電線地中化工事を実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

市道25号線は、事業用地の取得に時間を要しているが、県が実施する県道705号の事業との調整を図りながら進めている。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

市道25号線は、令和8年度に完成を予定している県道705号交差点改良にあわせて事業を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路新設改良費	事業 1	065	01070203
事業 2	020	国庫関連市道改良事業費	事業 3	001	国庫関連市道改良事業費

市道25号線は、他事業との調整により令和8年度に工事完成が必須なため、事業費が増加している。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
市道25号線は、関連する事業と完成時期をあわせられるよう事業を実施する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・都市構造再編集集中支援事業補助金（国費 25,000千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路新設改良費	事業 1	065	01070203
事業 2	030	秦野丹沢 S A 関連道路施設等整備事業費	事業 3	001	秦野丹沢 S A 関連道路施設等整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 新東名高速道路のスマートインターチェンジ供用開始に伴い、周辺道路の安全性、利便性の向上を図る
- ・内容 新東名高速道路周辺市道の再整備等
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 新東名高速道路の開通に伴い周辺道路の交通量が増加したため、周辺道路の安全性、利便性の向上を図る
- ・目標値 令和12年度までの計画に基づいた事業の実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法
- ・計画 総合計画（基本施策411 都市形成と基盤整備の推進）
表丹沢魅力づくり構想

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 7,226千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,300千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 3,780千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 43,650千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 市道横野16号線道路拡幅整備
- ・令和7年度 市道17号線区画線設置

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

表丹沢魅力づくり構想に位置付けられた事業であり、他事業との調整を図りながら事業を進めていく。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への実施等）[A]

市道3号線などの区画線設置を実施
秦野戸川公園内の市道整備に向け、県と調整を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	03	道路新設改良費	事業 1	065	01070203
事業 2	030	秦野丹沢 S A 関連道路施設等整備事業費	事業 3	001	秦野丹沢 S A 関連道路施設等整備事業費

- (1) 増減理由
事業年次計画に基づき、工事を実施するため増。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
関係機関、関係部署と連携し事業を実施する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・ 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	03	河川改良費	事業 1	070	0 1 0 7 0 3 0 3
事業 2	010	河川改修委託事業費	事業 3	001	河川改修委託事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 護岸を整備し法面崩壊の防止や浸食の解消により、安全・安心な生活環境に改善する
- ・内容 準用河川を整備し、浸食による法面崩壊の防止や浸食の解消に努める
- ・SDGs 9 産業と技術の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 安全・安心の生活環境に改善する
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 河川法
- ・計画 総合計画（基本施策341 防災・減災対策の推進）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 0千円（調整のため工事未実施）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 31,680千円（護岸改修）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 33,300千円（護岸設置）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 未定

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 室川改修工事が実施できず、護岸の損傷箇所を補修工事に対応。
- ・令和7年度 室川改修工事

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

令和7年度より、上下水道局への委託事業により河川改修事業を実施している。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

上下水道局への室川改修委託事業を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

年次計画に基づく整備予定箇所の事業費積上げにより増。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	03	河川改良費	事業 1	070	0 1 0 7 0 3 0 3
事業 2	010	河川改修委託事業費	事業 3	001	河川改修委託事業費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
近年多発する集中豪雨による災害の発生を防ぐため、河川の改修を進める。
国や県の補助制度などを注視し、該当するものがあれば積極的に活用し事業の推進を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・ 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 - ・ 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・ 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	03	河川改良費	事業 1	070	0 1 0 7 0 3 0 3
事業 2	020	矢坪沢水路整備事業費	事業 3	001	矢坪沢水路整備事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 砂防指定地の矢坪沢を河床の洗掘や法面の土砂流出など、治水対策上の課題を解消し、安全・安心を確保する
- ・内容 都市計画道路菩提横野線の整備に合わせた矢坪沢の整備
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 水路の安全性と防災力の向上
- ・目標値 砂防指定及び土砂災害特別警戒区域の解消

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 砂防法、森林法
- ・計画 総合計画（基本施策411 都市形成と基盤整備の推進）
秦野市都市マスタープラン

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 3,263,261千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 9,889千円（15%）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,309,100千円（55%）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 789,463千円（80%）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 657,900千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 矢坪沢水路用地を取得。
- ・令和7年度 矢坪沢水路用地を取得するとともに、工事を実施。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

事業用地の取得に時間を要したが、遅滞なく事業を進める。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

矢坪沢水路工事の実施

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	03	河川改良費	事業 1	070	0 1 0 7 0 3 0 3
事業 2	020	矢坪沢水路整備事業費	事業 3	001	矢坪沢水路整備事業費

年次計画に基づき、整備予定箇所の積上げに伴う減。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
関係機関、秦野市戸川土地区画整理組合と連携し、事業を遅滞なく完成させる。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・整備を行い土砂災害特別警戒区域を解消
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	事業 1	071	0 1 0 7 0 4 0 1
事業 2	120	都市計画事務費	事業 3	001	都市計画事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 土地開発公社の借入金から生じる利子に対する補助を行い、簿価増加の抑制を図る
- ・内容 秦野市土地開発公社が取得した都市計画道路事業用地取得資金として金融機関から借入れた資金に生じる支払利子について、「秦野市土地開発公社に対する借入金の利子補助及び利子負担に関する基準」（平成9年3月1日施行）に基づき負担する
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 簿価（取得価格）への利子相当額の上乗せが不要となり、簿価増加が抑制される
- ・目標値 借入金から生じる利子相当額の補助

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市土地開発公社に対する借入金の利子補助及び利子負担に関する基準
- ・計画 堀西羽根線・渋沢駅前落合線街路築造事業用地の用地取得に係る利子負担に関する契約
尾尻諏訪原線街路築造事業用地代替地取得資金に係る利子負担金契約
菩提横野線事業用地取得資金に係る利子負担金契約

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 522千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 516千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 2,554千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 未定

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 街路促進協議会の負担金を支出した。秦野市土地開発公社に対し、利子負担金を交付。
- ・令和7年度 街路促進協議会の負担金を支出した。秦野市土地開発公社に対し、利子負担金を交付。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

秦野市土地開発公社の保有する土地の買戻しの見通しが立たず、借入金の解消も見込めないため、本市の利子負担が長期化している。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

秦野市土地開発公社に対し、引き続き利子負担金を交付し、簿価の増加を抑制する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014520000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	01	都市計画総務費	事業 1	071	01070401
事業 2	120	都市計画事務費	事業 3	001	都市計画事務費

街路促進協議会への負担金支出。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

秦野市土地開発公社への利子負担金算定結果による。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度期末借入金額（借入料率）：130,000千円（0.120%）、375,000千円（0.300%）46,537千円（0.095%）

令和6年度期末借入金額（借入料率）：125,000千円（0.120%）、375,000千円（0.075%）46,537千円（0.095%）

令和7年度期末借入金見込額（借入料率）：115,000千円（0.500%）、375,000千円（0.075%）46,537千円（0.500%）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

秦野市土地開発公社の保有する土地については、事業所管課との連携を図りつつ、取得時の目的に限定することなく、土地の処分を推進する。

ただし、当該借入金を完済し、その役目を終えるまでは、継続的な補助により、簿価増加の抑制を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	03	街路事業費	事業 1	073	01070403
事業 2	010	菩提横野線街路築造事業費	事業 3	001	菩提横野線街路築造事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 秦野丹沢スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性の向上を図る
- ・内容 都市計画道路菩提横野線の整備
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 菩提横野線を整備することで、秦野丹沢スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性の向上を図る
- ・目標値 第1期事業区間の令和9年度の一部供用開始（第1期事業区間）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 都市計画法、道路法、砂防法、森林法
- ・計画 総合計画（基本施策411 都市形成と基盤整備の推進）
秦野市都市マスタープラン

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 3,447,797千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 73,777千円（12%）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 649,552千円（31%）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 780,143千円（54%）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 1,596,070千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 用地買収、建物補償、関係機関協議、工事
- ・令和7年度 用地買収、建物補償、関係機関協議、工事

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

事業用地の取得や関係機関協議に時間を要したが、遅滞なく事業を進める。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への実施等）[A]

菩提横野線街路築造工事、第2期事業区間の建物調査及び用地交渉を進める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145200000	道路整備課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	04	都市計画費
目	03	街路事業費	事業 1	073	01070403
事業 2	010	菩提横野線街路築造事業費	事業 3	001	菩提横野線街路築造事業費

- (1) 増減理由
年次計画に基づく整備予定箇所の積上げに伴う増。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
関係機関、秦野市戸川土地区画整理組合と連携し、事業を遅滞なく実施する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
・ 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 社会資本整備総合交付金（国費 322,300千円）